



令和3年1月15日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展「メタセコイア ー生きている化石は語る」 開催およびプレス内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：林 良博）は、2021（令和3）年1月26日（火）から4月4日（日）までの期間、下記のとおり、企画展「メタセコイア ー生きている化石は語る」を開催いたします。

また、本展の開幕に先立ち1月25日（月）に別紙のとおりプレス内覧会を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

「生きている化石」と呼ばれるヒノキ科の針葉樹メタセコイアが三木茂博士（1901年～1974年）によって命名されてから2021年で80年を迎えます。

本展では、メタセコイアの発見や保護をめぐる研究者たちの努力を紹介するとともに、植物と地球環境の変化の関わりを解説します。また、その保護活動の紹介を通じて、現代の私たち人類が直面する環境問題などの課題にも向き合います。

本展の開幕に先立ち、別添のとおり1月25日（月）午後3時30分～午後4時30分および午後5時30分～午後6時30分に、プレス内覧会を実施します。つきましては、広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

記

【会場】国立科学博物館 日本館1階 企画展示室（東京都台東区上野公園7-20）

【会期】2021（令和3）年1月26日（火）～4月4日（日）

【開館時間】午前9時～午後5時

【休館日】毎週月曜日（ただし、3月29日（月）は開館）※会期等に変更となる場合があります。

【観覧料金】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

一般・大学生：630円（団体510円）（税込）、高校生以下および65歳以上無料

【入館方法】新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を実施しています。

※入館にあたっては、当館ホームページでの事前予約が必要となります。

※入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページの予約サイトをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/news/2020/reservation/index.html>

【主催】国立科学博物館

【協力】アキシマエンス（昭島市教育福祉総合センター）、一般財団法人日本緑化センター、大阪市立自然史博物館、大阪市立大学理学部附属植物園、神奈川県立生命の星・地球博物館、宮内庁、滋賀県立琵琶湖博物館、筑波大学生命環境系、東京大学大学院理学系研究科附属植物園、福井県立恐竜博物館、福島県立博物館

【展示概要】別添の本展チラシ参照

【お問合せ】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL: 03-5814-9840、9883、9887、FAX: 03-5814-9898、E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp

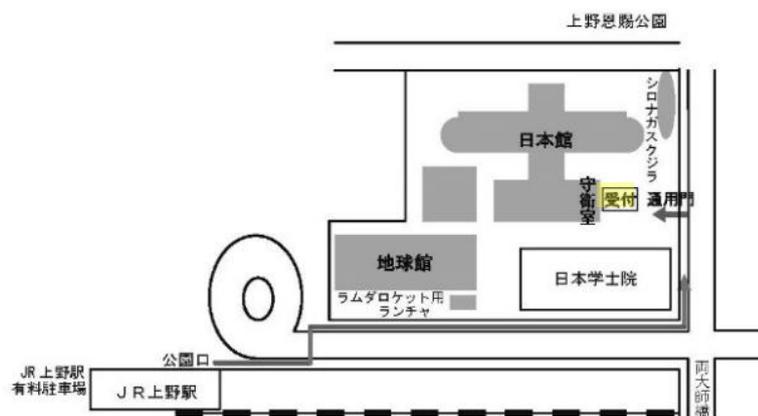
**企画展「メタセコイア ー生きている化石は語る」
プレス内覧会のお知らせ**
2021(令和3)年1月25日(月)午後3時30分～および5時30分～／国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「メタセコイア ー生きている化石は語る」の開幕に先立ち、下記のとおりプレス内覧会を実施いたします。

当日は、本展監修者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

記

- 【日 時】 2021(令和3)年1月25日(月)
【第1回】 午後3時30分～午後4時30分 (受付開始 午後3時～)
【第2回】 午後5時30分～午後6時30分 (受付開始 午後5時～)
- 【会 場】 国立科学博物館 日本館1階企画展示室 (東京都台東区上野公園7-20)
- 【受付場所】 日本館1階守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください。
- 【アクセス】 JR上野駅公園口から徒歩5分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩10分
京成電鉄上野駅から徒歩10分
※駐車場および駐輪場の用意はございません。



【当日のスケジュール】

- 午後3時～ 第1回参加者受付開始 (受付場所：日本館1階守衛室前)
午後3時30分～午後4時30分 第1回プレス内覧会 (会場：日本館1階企画展示室)
午後5時～ 第2回参加者受付開始 (受付場所：日本館1階守衛室前)
午後5時30分～午後6時30分 第2回プレス内覧会 (会場：日本館1階企画展示室)

※本展監修者による展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。解説は各回とも同じ内容です。

※本展監修者：国立科学博物館 地学研究部 生命進化史研究グループ 研究主幹 矢部 淳

※一部を除き展示室内の撮影が可能です。

【新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い】

(1) 次の方のご参加は不可とさせていただきます。

- ・ 当日体温が 37.5 度以上の方
- ・ その他、発熱、咳、息苦しさ、下痢、倦怠感、吐き気、頭痛、嗅覚異常、味覚異常等、平常時と違う症状をお感じの方

(2) 以下、ご理解・ご協力をお願いいたします。

①来館時

- ・ 受付前に検温、体調等の確認をし、発熱や上記の症状がある方は入館をお断りします。
※館内で激しく咳き込むなど、風邪のような症状がある方には、退館をお願いする場合があります。
- ・ マスクの着用をお願いします（内覧時も含む）。
- ・ 会場内の「3密」を防ぐため、入場を制限する場合があります。

②内覧時

- ・ 対人距離をなるべく 2m 以上あけるようお願いいたします。
- ・ 間隔調整のため、各展示は譲り合ってお覧いただき、複数の方が一か所に滞留しないようお願いいたします。
- ・ 会場内の展示物や壁面などには触れずに観覧してください。
- ・ 会場内での会話は大声を出さず、必要最小限にお控えください。

③来館後

- ・ 万が一、体調不良等が起こった場合は必ず国立科学博物館企画展担当までご連絡ください。

【お申込み方法】

プレス内覧会に参加を希望される方は、1月21日(木)午後5時までに、下記必要事項を記載の上、国立科学博物館企画展担当 kikakuten@kahaku.go.jp まで、メールにてお申込みください。

- ・ 件名：企画展「メタセコイア」プレス内覧会申込
- ・ 参加を希望される回（【第1回】または【第2回】のどちらか）
- ・ お名前
- ・ ご所属
- ・ 緊急連絡先（携帯電話番号）
- ・ メールアドレス

※代表者の方がまとめてお申込みをされる場合も、すべての参加希望者について、上記必要事項をご記入願います。

また、このたび、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各回の参加人数に定員を設けさせていただきます。受付はお申込み順とし、定員に達した時点で、当該回の受付を終了いたします。あらかじめご承知おきください。

参加の可否につきましては、当館企画展担当から、折り返しのメールをもってご連絡いたします（概ね3日以内にお返事します）。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるように設定の変更をお願いいたします。

以上、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※いただいた個人情報、プレス内覧会以外の連絡には使用しません。

また、厳重に管理し、プレス内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします。

【お問合せ・お申込み先】

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9840、9883、9887 FAX:03-5814-9898

E-mail:kikakuten@kahaku.go.jp

【本展監修者】



国立科学博物館 地学研究部 生命進化史研究グループ
研究主幹 矢部 淳 (やべ あつし)

専門は植物化石、古生態、古環境解析。

日本や東アジアの植生の歴史を解明するため、新生代を中心とした植物化石の分類と植物の化石に基づいた過去の気候解析を行っています。

生きて
いる化石は語る

[Special Exhibition]
Metasequoia
A Living Fossil

[命名80周年記念]

企画展
メタセコイア

2021
1/26 [火]
▶ 4/4 [日]

国立科学博物館 (東京・上野公園) 日本館1階 企画展示室
National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)

- 開館時間 / 午前9時～午後5時
- 休館日 / 毎週月曜日 ※ただし3月29日(月)は開館
- 入館料 / 一般・大学生630円(団体510円)(税込)(高校生以下および65歳以上無料)
※常設展示入館料のみをご覧ください。

- 主催 / 国立科学博物館
- 協力 / アキシマエンス(昭島市教育福祉総合センター)、一般財団法人日本緑化センター、大阪市立自然史博物館、大阪市立大学理学部附属植物園、神奈川県立生命の星・地球博物館、宮内庁、滋賀県立琵琶湖博物館、筑波大学生命環境系、東京大学大学院理学系研究科附属小石川植物園、福井県立恐竜博物館、福島県立博物館

メタセコイアの命名者
三木 茂博士

現生のメタセコイア



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

お問い合わせ

TEL.050-5541-8600 (ハローダイヤル)
FAX.03-5814-9898
<https://www.kahaku.go.jp/>

※会期等の変更とすることがあります。
※入館は予約制となります。詳細はホームページをご覧ください。

命名80周年記念
企画展

メタセコイア

Metasequoia: A Living Fossil

— 生きている化石は語る —

「生きている化石」と呼ばれるヒノキ科の針葉樹メタセコイアが三木茂博士(1901年~1974年)によって命名されてから2021年で80年を迎えます。本展では、メタセコイアの発見や保護をめぐる研究者たちの努力を紹介するとともに、植物と地球環境の変化の関わりを解説します。

また、「生きている化石」の保護活動の紹介を通じて、現代の私たち人類が直面する環境問題などの課題にも向き合います。



三木博士が研究したメタセコイアの標本
所蔵：大阪市立自然史博物館

世界が驚いた メタセコイアの発見

The Discovery of Metasequoia

三木博士が名付けた化石のメタセコイアと、その後発見された現生種。2つの「発見」にまつわる物語を紹介します。

メタセコイアって どんな植物?

What is Metasequoia?

メタセコイアは校庭や並木道など身近なところで見られる落葉樹です。その特徴やなぜ「生きている化石」と呼ばれるのかを紹介します。

メタセコイアは なぜ日本から絶滅した?

Why did Metasequoia
Disappear from Japan?

北極圏にまで広がっていたメタセコイアがなぜアジアの一部地域だけに残り、日本から姿を消してしまったのか。そのミステリーに迫ります。

メタセコイアが生きた時代とは?

日本の化石産地から

The Age of Metasequoia:
A Few Million Years Ago in Japan

東京と近畿で発見されたメタセコイアの化石林研究の成果をもとに、数百万年前の環境やそこに暮らした動植物を紹介します。

メタセコイアから 何を学ぶ?

What can we Learn
from Metasequoia?

絶滅のがれたメタセコイアは、いま再び環境問題に直面しています。「生きている化石」を通じて、私たちは何を学んだらよいのでしょうか?

メタセコイアの 現在・未来

The Metasequoia, from here on out

現生種発見のあと、研究者たちの努力でメタセコイアは再び世界に広がりました。自生地や日本での保全活動を紹介します。



メタセコイア樹幹化石
所蔵：筑波大学

古琵琶湖周辺の景観図
画：ブライアン・ウィリアム
所蔵：滋賀県立琵琶湖博物館

入館に際しての注意事項

- 入館の際は、当館ホームページでの事前予約が必要です。
- 入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。
- 入館中はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください。
<https://www.kahaku.go.jp/>

アクセス

- JR
「上野駅」公園口から徒歩5分
 - 東京メトロ 銀座線・日比谷線
「上野駅」から徒歩10分
 - 京成電鉄
「京成上野駅」正面口から徒歩10分
- ※当館には駐車場および駐輪場はございません。

 国立科学博物館
National Museum of Nature and Science
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
TEL：050-5541-8600(ハローダイヤル)
FAX：03-5814-9898
<https://www.kahaku.go.jp/>



広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。
国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真の貸出からお申込みできます。
(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



①「メタセコイア —生きている化石は語る」
ポスター



②メタセコイア樹幹化石
写真提供：筑波大学生命環境系



③メタセコイア化石
所蔵：国立科学博物館



④メタセコイアの木



⑤メタセコイアの葉



⑥三木茂博士
写真提供：大阪市立自然史博物館



⑦三木博士が研究したメタセコイア標本
所蔵：大阪市立自然史博物館



⑧古琵琶湖周辺の景観図
画：ブライアン・ウィリアム
所蔵：滋賀県立琵琶湖博物館



⑨国内最古のメタセコイア化石
所蔵：福島県立博物館



⑩メタセコイア自生地（中国・湖北省）
写真提供：塚腰実、厚井聡

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください（記事内容をチェックするものではありません）。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

電話 03-5814-9840、9883、9887 FAX 03-5814-9898

E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

写真説明

- ②メタセコイア樹幹化石。東京都八王子市産。約 200 万年前。1967 年、中央自動車道工事の際に発見されたもの。
- ③メタセコイアの化石種 *Metasequoia occidentalis* (Newb.) Chaney ノルウェー・スピッツベルゲン島産。約 4,500 万年前。三木博士がメタセコイア属を設立した際、同島からかつて報告された標本 (Heer, 1877) を基準標本の一つにした。
- ④⑤現生のメタセコイア。筑波実験植物園。葉も枝も軸に対して左右対につくのが特徴。
- ⑥三木茂博士。メタセコイアの命名者。写真は 1963 (昭和 38) 年。博士 62 歳の年。大阪市立大学にて。
- ⑦三木博士がメタセコイア属を提唱した際に研究した標本 (Miki, 1941)。大阪市指定文化財。
- ⑧古琵琶湖*¹周辺にメタセコイアが繁茂していた頃の景観。約 400 万年前の化石に基づいたもの。
* 1 : 現在の琵琶湖に相当する地形的な低まりは、湖ができ始めた 400 万年前にはもっと南にあり、次第に北へと移動してきたと考えられている。琵琶湖の前身にあたるこの湖を古琵琶湖と呼んでいる。
- ⑨国内産の化石としては確実な最古の記録 (球果)。福島県広野町上北迫産。約 8,800 万年前。恐竜がいた白亜紀後期の化石。
- ⑩中国で最初に発見された現生のメタセコイア。現生種の模式個体。現在は木を周囲から見ることができるように写真のような公園として整備されている。